

MABUCHI ACADEMIC SCHOOL SYSTEM GUIDE

高校受験コース



高校受験コース システムガイド



目指すのは最高の結果 です。



ずば抜けた実績が示す指導力で「第一志望校合格」 を全力サポート。

馬淵教室では開校以来“最大の塾ではなく、最高の塾”であることを目指して、つねにトップレベルの「教育品質」を維持し、さらなる向上を追究してきました。その積み重ねが、大阪・兵庫・奈良・京都・滋賀の近畿各府県の公立高校入試、そして灘・東大寺・洛南・西大和などの難関私立高校においてずば抜けた合格実績を築きました。いまでは、「高校受験なら馬淵」のゆるぎない評価を得ています。

指導力に富んだ教師陣、高品質な授業、きめ細やかな個別フォロー。馬淵教室は期待にしっかりと応えます。

各府県の公立高校、そして難関私立高校への圧倒的合格実績。こうした結果は生徒たちの努力の賜物であることは言うまでもありません。その彼らが口をそろえて語ってくれるのが“馬淵の力”。志望校合格まで綿密に計算された学習カリキュラムはもちろん、他塾に先駆けて導入した「反転授業」などの学習システム、そして何よりも大きな力は“教師の力”です。高品質な授業、きめ細やかな質問対応、それぞれの生徒に合わせた学習方法の提供、進路相談など、一人ひとりを高校合格までしっかりと支える教師の力が、馬淵教室の原動力です。時代や社会の要請を受けて改革が進む「教育」。馬淵教室はこうした変化にもいち早く対応、開校以来培ってきたトップクラスの指導力をさらに進化させ、生徒の皆さんと共に「最高の結果」を目指して邁進します。



育みたいのは、人間力。

人はいくつになっても、いろいろなことを学びながら生きていきます。

学ぶことは、生きること。そう言っても過言ではありません。

高校受験を通して、馬淵教室が心掛けていることは、単に生徒に知識を送り込むことではありません。

生涯にわたって活かせる学力、つまり人間力を育むことです。

だからこそ私たちは、生徒一人ひとりと深く、そして真摯に向き合います。

1

成功体験を通して、
ポジティブな
人生観を築く。

「成功体験」を持っていることは、将来たいへん大きな力となります。そして、この成功体験を弱冠15歳という多感な時期に体得することは、将来の大きな礎となり、前向きに努力する精神でさまざまな局面を切り拓くことでしよう。

だからこそ馬淵教室では、生徒たちの第一志望に徹的にこだわります。第一志望校合格、それは単なる目標ではなく、かけがえのない財産となります。

2

自分で目標を定め、
課題を克服していく。
物事に対する
主体性を養う。

受験の主役はあくまでも生徒自身です。時に背中を押し、時に方向付けをするのが私たちの役目です。教師が1から10まですべてを教えるのではなく、「何を学び、何を考えるのか」という意識を生徒が持てるような授業を展開することで、生徒たちは自分自身の力で目標を決め、弱点を見つけ、克服していきます。

自分の学習を自分で管理できるようにしていくことは、教育の基本です。それは今後、あらゆる物事に主体的に取り組む力となります。

3

高校入学以降、そして
社会人になっても通用する
真の学力を
身につける。

馬淵教室では将来に向けて、「本質を見抜く力」「正しい判断ができる力」を養うことを念頭に置き、指導要領にとられない独自のカリキュラムを組んでいます。必要な学習内容を必要な学年にきちんと指導すること。この蓄積が、将来のさまざまな場面での「正しい判断をする力」の知識となり、真の学力となっていきます。

高校や大学、そして社会人になり、その時々勉強する内容は変わりますが、「学び」の基本はこの時期に育まれます。

全体のご案内

高校受験コースの特色	05
馬淵教室 教務システム	11

小学部の学習

総合案内	13
算数	15
国語	16
小学英語	17
まぶちコア・スタディ	18

中学部の学習

総合案内	19
SSST/SSSクラス	21
創駿会	22
数学	23
国語	24
英語	25
理科	26
社会	27
中2・中3土曜・日曜特別講座	28

馬淵の最先端授業

反転授業	29
Web授業	31
オンライン授業	33
馬淵ライブナビ	35

テスト

小学生統一テスト・公立合格判定模試	36
馬淵公開テスト	37

サポート・入室のご案内

サポート体制/入室までの流れ	39
よくあるご質問	41



授業の特性

LESSON

研修会での指導方法や教材の研究、
 カリキュラム→復習テスト→フォローアップという学力向上サイクルの形成、
 講習会や中3入試特訓での本番に強い実力と集中力の養成、
 公開テストによる生徒の実力の確認と目的意識の向上など、
 さまざまなシステムやメソッドを重層的に組み合わせ、
 授業の品質向上に力を注いでいます。

理解を深める

経験豊かな教師による指導

“生徒たちの学力を引き上げ、志望校へと導いていく”。
 毎年の合格実績第1位を支えているのは、受験指導を熟知した馬淵教室教師陣による集中指導体制です。経験豊富な教師だからこそ、理解を深め、学力をさらに高める工夫ある授業ができると考えます。



カリキュラム+復習テスト+フォローアップ

生徒たちの理解度を高めるには、計画的な学習サイクルが必要です。馬淵教室では、授業の学習内容の理解度を測るために復習テストを定期的実施します。授業での理解→家庭学習での定着→復習テスト→フォローアップという学習サイクルが、授業の理解度をさらに高めます。毎回の授業内容や復習テストの内容はカリキュラムブックとしてまとめ、生徒の皆さんにあらかじめ配布しています。



集中力を培う

講習会

春、夏、冬の学校の休み期間に、小学4年生～中学3年生を対象にした講習会を開講します。講習会の目的は、連続授業による集中力の育成と、効率的な学習への取り組みです。全学年とも講習用に特別カリキュラムを組み、通常授業で培ってきた学力のレベルアップと応用力の養成を行います。



中3入試特訓

難関公立高校を目指す受験生には、「日曜選抜コース」を開講。入試教科に絞った、よりハイレベルな指導を行います。直前期には「入試直前講座」を開講し、入試演習に取り組みます。受験生は対策講座や「公立合格判定模試」などを経験し、本番での得点力につなげていきます。



目的意識を高める

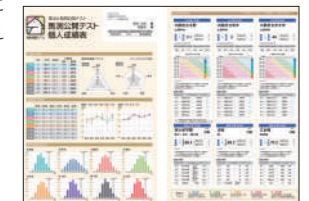
公開テスト

年間6回、小学4年生～中学3年生を対象に、馬淵公開テストを実施します。公開テストの結果は馬淵教室独自データを基に、個人別の成績表、教科別・単元別の評価、志望校の合格可能性判定などにつながっていきます。生徒たちは公開テストの順位により現在の自分の学力の位置づけを知り、将来の志望校合格に向けての学習計画を立てていきます。



入試当日順位予測

各府県のNo.1の実績が証明する馬淵教室の成績分析に対する精度の高さは、公開テストの成績と各中学校における内申点から、その生徒の志望校である公立高校における「入試当日の順位予測」を確定するレベルにまで達しています。馬淵教室にしかできないこの合否判定は、受験生一人ひとりに確かな指針を与えます。





教師の研鑽

Teacher

研修会や模擬授業を通じた個々の指導力の向上、

生徒一人ひとりの成績データの把握と追跡、

教科会議での各教科の指導方法の検討、最新の入試問題の分析・研究など、

馬淵教室の教師は、授業力の向上のため絶えず研鑽を重ねています。

さらに、生徒からの意見や評価を自らのレベルアップの一助とするため、

授業アンケートも行っています。



指導力を磨く

授業研修

生徒たちの学力を上げるためには、教師自身も日々の研鑽が必要です。馬淵教室の教師は、教科ごとに行われる研修会や模擬授業会などを通じて、個々の授業力の向上に努めています。効果的な授業の組み立てや解法の研究が、よりよい授業を生み出し、生徒たちを合格へ導いていきます。



成績データ把握

よりよい授業の追究は、ホワイトボードの前での研鑽だけでは限りません。担当クラスの生徒一人ひとりについての成績データを常に把握した上で、授業を行うことが大切です。馬淵教室では、校舎内でクラス担任を中心にした生徒たちの成績動向会議を開き、教科間の成績の分析・対策をたてていき、次の会議で結果の追跡を行います。



ベストを追究する

教科会議

各教科ごとに教師が集まり、指導方法の研究やカリキュラムの検討、各クラスごとの成績分析などを行います。特に、公開テストの成績分析は1問ごとに正答率を出し、あらかじめ予測していた結果と異なっていた場合は「なぜ、正答率が低かったのか」「授業での指導方法に問題はなかったか」と徹底的に追究し、今後の授業方針を決定していきます。



入試問題研究

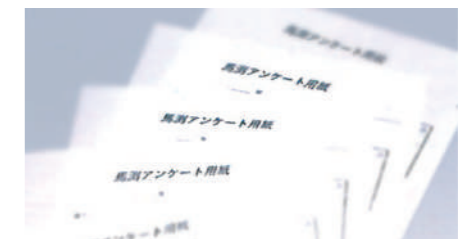
馬淵教室では、最新の入試問題の研究を教師全員で取り組みます。教師一人ひとりが全ての問題に目を通し、最近の出題傾向の分析から、実際に生徒に解説するときの授業内容の検討まで、何回にもわたって研究会を行っていきます。この内容は「日曜選抜コース」「私立・公立直前対策講座」などのテキストに集約し、中学3年生の受験対策教材として使用していきます。



授業に学ぶ

授業アンケート

教師は密室の王様と言われます。この王様の悪いところは、授業内容や教え方の悪い所が自分で見えず、独善的になってしまうところです。馬淵教室では毎年、全教師を対象に授業アンケートを実施し、生徒による教師の評定を行います。この授業はわかりやすいか、この先生にまた教えてもらいたいかな。生徒たちのするどい批評が、教師を育てていきます。





進路の決定

Course

馬淵教室では生徒一人ひとりの個性を見極め、

学力レベル、苦手教科、得意教科などを把握し、指導に反映。

生徒の成績データを蓄積し、成績ファイルとして保管する情報管理システムを、

進路決定の指針としても活用しています。

また、成績向上のためには生徒・保護者・そして教室が一体となることが不可欠と考え、

保護者懇談・生徒相談などを緊密に行っています。

生徒情報の把握

成績の分析

生徒達の成績、克服していくべき課題は絶えず変化します。馬淵教室では入室時から入試合格まで、すべての生徒の成績データは個人別成績カルテとして保管されます。また、学校の定期考査の成績や模擬試験の結果も成績ファイルに保存されます。生徒の成績状況や推移が、いつでも把握できるこのシステムは、一人ひとりの生徒への的確なアドバイスへとつながっていきます。



志望校への可能性

中学2年生以降は、公開テストの成績に基づき志望校への合格可能性判定を行います。公立高校に加えて、それぞれの志望に沿った国立・私立高校の合否判定も行います。これらの判定資料に基づいてテスト後に懇談等を行い、志望校に対する今後の勉強法について指導していきます。



目標の見極め

さまざまな行事・イベント

毎年春に中1入室式、中3出陣式を開催。入室式では、公立入試から最難関私立入試まで適応した馬淵の指導システムの説明と3年後の目標設定を行います。出陣式では、高校入試に向けた学習方法の説明や、より具体的な入試システムについての説明をします。また、卒業生からの体験談を聞くことで、具体的な目標設定や志望校合格のために必要な学習計画だけでなく、受験生としての心構えを固めます。秋には中2Turning Pointを開催。折り返し地点となる中2の秋に目標となる高校や入試の仕組みを知ること、いち早く受験生としてのスタートをきるきっかけを作ります。



保護者との連携

保護者懇談・生徒相談

馬淵教室では、成績の向上は、生徒を中心に保護者と教室が三位一体となることが大前提だと考えます。生徒の成績の推移に応じて、定期懇談以外にも随時懇談を実施します。生徒に対しても、一人ひとりの状況に合わせて懇談を実施し、具体的な目標を持たせ、それを達成するための勉強法についての方針と計画を示したり、相談・悩みを聞く場としています。

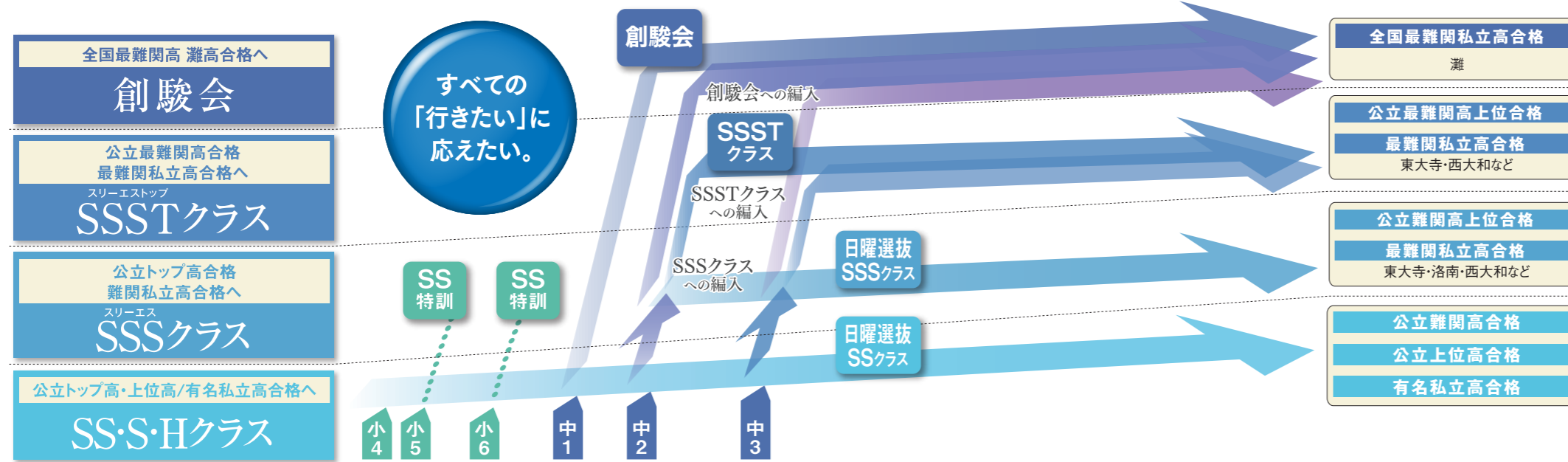
保護者アンケート

生徒への授業アンケートだけでなく、保護者の方から馬淵教室についてのご意見をいただき、今後の教室運営に活用させていただきます。授業についてのみならず、保護者懇談の内容や馬淵教室の職員の対応など幅広い項目についてご意見をいただきます。いただいたご意見については、真摯に改善に努めてまいります。



クラスシステム ~コース別高校受験指導~

▶馬淵教室のクラスは、すべての生徒の夢をかなえるため、そしてワンランク上の夢をかなえるためのシステムです。



CLASS SYSTEM

創駿会

灘合格を目指すクラスです。入試に直結したカリキュラムによる少人数制指導。合格への最短ルートです。

SSST/SSSクラス

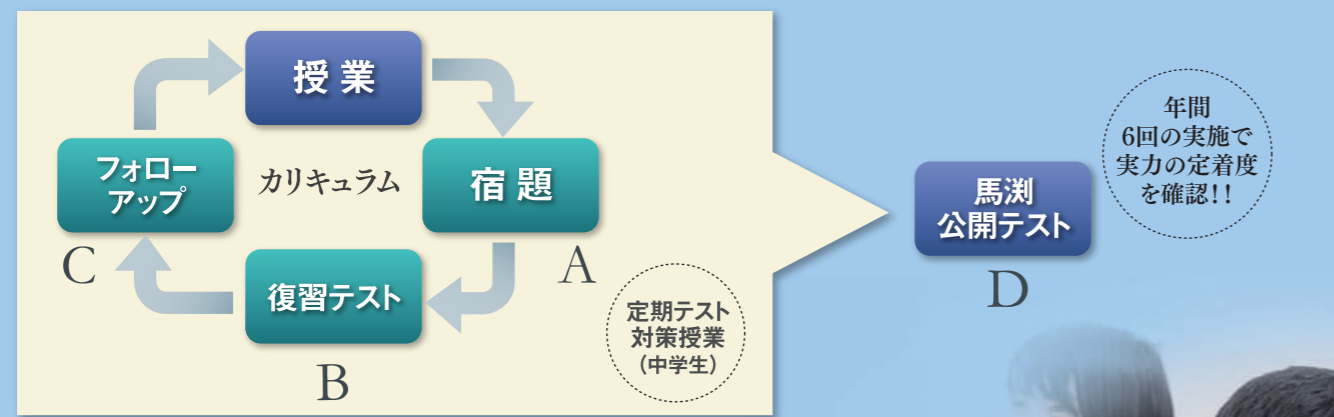
公立最難関高の上位合格、および最難関私立の併願合格を目指す中学2年生からの選抜クラスです。大学受験を見すえ、高校進学後もトップレベルの学力維持を目指します。さらにトップレベル生はSSST(スリーエストップ)クラスで公立最難関合格を目指します。

SS・S・Hクラス

公立難関高・上位高や、有名私立高合格を目指すクラスです。体系化したカリキュラムと定期テスト対策で、志望校に合格する実力を着実につけていきます。

指導システム

▶「定着力」こそが、学力向上につながります。一人ひとりを大切にするシステムです。



A 宿題

授業終了時には宿題が提示されます。宿題には難易度設定がされており、クラスの授業理解度などから判断して適切な難易度の宿題を提示します。

C フォローアップ

復習テストの合格点は8割。これに達しなかった場合には、フォローアッププリントなどが配布され、さらに弱点箇所を重点的に復習していきます。

B 復習テスト

宿題による定着力のチェックをするテストです。日々の家庭学習の状況が見えてきます。

D 馬淵公開テスト

総合的な実力をはかる馬淵教室独自のテストです。これに基づき、進路指導やクラス替えが行われます。

▶第一志望校合格はもちろん、将来につながる「真の学力」が身につけられます。



1 基礎学力指導

すべての学習を支えるのが、「読み・書き・計算」に代表される基礎学力です。特に馬淵教室では、小学生の間に基礎学力の徹底をはかります。

3 小学部特別授業プログラム

中学での学習や入試対策に備えて、小学生の段階から実力を養成していく各講座を設置しています。
●小学英語 ●小学SS特訓 ●小学理社

2 教科指導

馬淵教室の各教科のカリキュラムは、高校進学や、さらにその先を見すえて、そこから逆算して組まれています。指導要領にとらわれることなく、「必要なことを必要な学年で学習する」系統立てられた独自カリキュラムです。

4 受験指導

日々の復習テストや実力をはかる公開テストをもとに、馬淵教室の進路指導は、公立高校の「入試当日順位予測」ができるほどの精緻さを備えています。膨大な卒業生データを蓄積している馬淵教室ならではの進路指導です。

小学部の学習

小学4・5・6年生

まぶちモジュールと教科学習のハイブリッドシステム！

Point
1

算数、国語の応用力の育成

小学生も高学年になると、中学につながる抽象的な思考や法則的な考え方が必要になってきます。馬淵教室の算数、国語の授業では、教科書的な内容に止まらず、今習っていることがこの先どう発展していくのか、という点を重視したカリキュラムで応用力を育成します。単元別に系統的な学習で数学脳を養う「算数」。読む・書く（国語）。これらの学習は全教科の基盤となる思考力、論理力を育てていきます。



Point
2

小学生特別プログラム

中学での学習や入試対策に備えて、小学生の段階から実力を養成していく各講座を配置しています。読み・書き・計算などの反復学習で基礎学力の育成をはかる「まぶちモジュール」。英語教育の変化に応じて中学英語の先取りや、話す・聴くも運動させた「小学英語」。将来の公立上位合格に向けた土台づくりを始める特訓授業「小学SS特訓」。中学以降の理科・社会の学習をよりスムーズに進めるための講座「小学理社」。これらの学習によって今後の学力の基盤を強化していきます。

Point
3

公開テストでの学力判定

年間6回行われる馬淵公開テストは、総合的な学力をはかるための公開模擬テストです。総合成績はもちろんのこと、単元別成績や設問別成績まで細かく記載されるので、弱点がどこにあるのかが明確にわかるようになっています。早期の弱点克服は、中学校での学習をスムーズに進めます。

学年別指導目標

小学4年

馬淵教室での学習のスタート地点の学年です。まずは学習の習慣づくりが何より大切です。授業の受け方、ノートの取り方、そして家庭学習のやり方を身につけていきます。また、基礎学力練習はなるべく早期に学習を始め、習得していくべきです。まぶちモジュールで、将来に直結する基礎学力を繰り返し定着させていきます。

小学5年

4年生まで身につけた基礎学力をもとに、多くの重要単元を学習する5年生は、小学校の教科学習の中では算数・国語とともに、もっとも重要な柱となる学年です。基礎事項の定着をはかり応用力を養うことで、中学校の学習につながる力を身につけ、かつ、基礎学力も継続的に習得していきます。

小学6年

これまで培ってきた小学校の学習の集大成の学年です。これまでの学習内容を組み合わせ、さまざまな問題が解けるようになっていきます。また、ここまで学習してきた基礎事項や教科学習内容は、本格的な高校受験のための学習が始まる中学生活の、一歩進んだスタートへとつながっていきます。

通常授業（通塾日数）

算数…週1日 国語…週1日

算数・国語それぞれ週に1回ずつの授業です。指導要領にとらわれることなく、各学年に必要な単元を、学校より少し早い進度で進めています。

講習会授業

春期/夏期/冬期

講習会の授業は、通常授業と連動したカリキュラムです。馬淵教室生は必修受講となります。春・夏・冬の講習会は、前学期の総復習と、次学期の基本内容の予習が主となります。

まぶちモジュール



小学生の間だからこそ、眠った才能を引き出したい

授業の最初は、まぶちモジュールから始まります。教科枠にとらわれることなく、小学校で確実に習得しておきたい「基礎学力」。これを「短時間で・テンポよく・繰り返し」練習することで、考える力の基盤を構築していきます。また、まぶちモジュールを最初に行うことで、集中力を高めた状態で授業にスムーズに入ることができます。

音読 + フラッシュ系モジュール + 百ます計算

都道府県フラッシュ (映像授業) | フラッシュ暗算 (映像授業) | 部首フラッシュ (映像授業)



特別講座授業

※開講していない校舎もあります。

小学英語…週1日(小4・小5・小6対象)

指導要領の改訂により難化する中学英語に対応し、文法内容を確認しながらの会話文の暗唱や、単語学習の習慣化をレッスンに導入。中学英語の先取り学習で「受験に強い英語力」を育てます。

小学SS特訓(算・国)…週1日(小5・小6対象)

将来の公立上位高合格に向けた土台づくりとワンランクアップした内容を扱う特訓授業です。

小学理社…週1日(小6対象)

中学校で学習する内容を見ずえて組まれたカリキュラムにより、中学以降の理科・社会の学習を、よりスムーズに進めるための講座です。映像教材も駆使し、よりわかりやすく、より興味深く学習できます。

イベント

2月		
3月	公開テスト	春期講習会
4月		
5月	公開テスト	
6月	小学生統一テスト	
7月	公開テスト	夏期講習会
8月		夏期講習会
9月	公開テスト	
10月	小学生統一テスト	
11月		
12月	公開テスト	冬期講習会・小6保護者会
1月	公開テスト	冬期講習会

※行事は変更になる場合があります。



算数

Mathematics

中学校での
学習内容を見すえた
基礎力を養成

算数は中学での数学、理科など計算をとまなう教科の基本をなす、基幹教科の1つです。こうした他分野に必要な計算はもちろん、文章題や図形、グラフなどへの応用、さらには中学校数学との関連性の高い単元では数学レベルの内容まで踏み込んで、幅広い力を身に付けていきます。こうして培った学力は中学での学習をスムーズにスタートさせるだけでなく、将来必要な思考力や応用力を高めます。



学年別指導方針

小学4年

基本の計算力養成と算数的な考え方の育成。
基本的な学習習慣（ノートの取り方・やり直しの方法など）を身につけます。その上で、4年生のテーマとなる整数や小数の計算方法を習得し、図形の学習に役立てます。また、図形問題の考え方の基礎を学びます。

小学5年

重要単元の基本を定着させ、応用を図る。
5年生は小数や分数の計算を中心に学習します。その上で、整数の性質に関する問題や割合、速さ、三角形・四角形の面積、立体図形の体積などの概念と見方・考え方を学習します。また、これらの応用問題を解くことで、算数的な考え方の基礎を築き上げます。

小学6年

小学校の総まとめ。中学への橋渡しを行う。
これまでに学習した計算を使って、分数の計算、比と比例、拡大図と縮図などを学習します。また、中学で学習する内容を一部織り交ぜながら、それぞれの単元を学習することで中学への橋渡しをスムーズに行います。

授業の流れ

- 宿題チェック
- 各種テスト
- 授業のポイント部分の解説
- 問題演習と解説
- 次回までの宿題提示

チェックテスト

前回の授業内容の重要部分が定着できているかの確認テストを実施します。

復習テスト

直近数回分の学習内容のポイントとなる部分から出題されます。

ロジカルシンキングテスト

「知識・技能」の徹底指導と平行して、問題文から正確に条件を読み取り、上手く整理して論理的に答えを導き出す力を、継続的に養っていきます。



まぶちの算数

小学生で学習する算数と中学生で学習する数学は、さまざまな単元が密接に関連しています。そこで小学6年生では、中学につながる単元を厳選して学習し、いろいろな単元で中学数学の内容の先取りを行います。中学数学を見すえた、思考力養成を重視したカリキュラムです。

宿題

基本的に、授業での学習内容に完全準拠した練習問題が宿題になります。

小学算数

- ①0以上の整数、小数、分数など数に関する学習
- ②ともなって変わる2つの量の変化(比例・反比例)
- ③単位量あたりの大きさ(速さ、平均、密度など)
- ④割合
- ⑤比
- ⑥平行線と角、多角形の角
- ⑦多角形、円などの面積
- ⑧柱体、すい体の体積、表面積
- ⑨合同な図形
- ⑩拡大と縮小(相似な図形)

中学数学

図形分野を中心に
中学数学であらためて
扱われる単元が多い
馬測では「算数」と「数学」を
分断せずに体系的に
学びます。



主要テキスト

小学算数(小4~小6)

実は
小学算数で
扱われている
中学数学の
基礎

国語

Japanese

基本的なことがらを
確実に身につけ、
中学校の国語へとつなげる

高校入試で出題される国語の文章は、長いもので4,000字を超えるものもあります。こうした文章を理解するためには、一つひとつの文の意味を理解し、文と文とのつながりをとらえる練習を積み重ねることが重要です。馬測教室の小学生の国語では、意味調べや漢字の練習だけでなく、短文の構造を理解し、徐々に長文や抽象的な文章を読み進め、文章全体の理解へとつなげるトレーニングを行います。中学での国語の学習の前に、読み方・解き方の基本をまずは身につけます。



学年別指導方針

小学4年

本文内容を読み取る力、文章表現力を養う。
国語学習の基本となる家庭学習習慣(漢字の学習・意味調べなど)を身につけます。そのうえで、本文をじっくりと読む練習をします。また、文法構造をふまえながら、正しい表現のしかたを学びます。

小学5年

文や段落相互の関係の考察と主張・主題の理解。
指示語・接続語を踏まえ、本文全体の大きな流れ(段落機能)を捉え、主題や心情などの把握を目指します。具体・対比などを学び、論理を学ぶ端緒とします。

小学6年

抽象的な表現に慣れ、論理的な考え方を修得する。
5年生の内容を踏まえ、より抽象的な素材にふれ、本格的な論理構成を学んでいきます。また、記述問題や要約などで、正しい表現練習を繰り返していき、中学での学習につなげていきます。

授業の流れ

- 宿題チェック
- 各種テスト
- 基礎知識の学習
- 本文・問題解説
- 次回までの宿題提示

チェックテスト

該当学年の漢字を出題します。事前に範囲が宿題として提示されます。

復習テスト

直近数回分の漢字の総復習や授業で扱った読解問題が出題されます。

宿題

漢字 次回にチェックテストや復習テストがある場合、その範囲を宿題として提示します。

※ テキストの「手読み」、意味調べ、問題演習など 次回の授業解説範囲を宿題として提示します。

記述力養成添削講座(特別講座)

年間を通しての緻密な添削指導により、作文力の強化を目指します。家庭学習用のテキストを併用します。

テキスト▶ 添削結果▲



主要テキスト

小学国語(小4~小6)



※「手読み」とは、文章中のキーワードなどを四角で囲んだり、中心文に線を引いたりしながら、手でも読むことを指します。

小学英語 〈小4～小6対象〉

中学英語の先取りで「受験に強い英語力」を育てます



グローバル社会で将来的に活躍できる人材を育てるため、英語教育の改革がすすめられています。小学校では、3・4年生で「外国語活動」を行い、5・6年生では「英語」を成績のつく教科として学ぶようになりました。馬淵教室ではこうした英語教育の変化に応じて「小学英語」の指導内容を強化・充実させています。音声の比重が高まる中学・高校英語に備え、発音やリスニングはもとより、実用表現の練習や作品の音読・暗唱により、豊かなコミュニケーション能力を養います。また、単語の筆記練習も積極的に行い、語彙力を高めるなど、非常にバランスの取れた学習内容です。

まぶちコア・スタディ 〈小2・小3対象〉

「まぶちモジュール」と「教科学習」のハイブリッド・システム ●設置コース:週1日コース・週2日コース



小学校の低学年という時期は、一生のうちでも脳の吸収力が高まる時期とも言われます。この時期に基礎学力・思考力のコア(核)を身につけておくことが、小学校の高学年や中学校以降の学習にたいへん大きな力となっていきます。「低学年能力育成コース まぶちコア・スタディ」では、馬淵教室の高校受験コースや中学受験コースに入室する前の段階で、学ぶ楽しさを知り、学びへの意欲を高めていきます。学力低下が叫ばれる時代だからこそ、ぜひ低学年のうちに学ばせたい学習カリキュラムです。



馬淵教室では、英語で「読む」「書く」「聞く」「話す」4つの力をバランスよく伸ばす指導を重視。

小・中の英語授業がさらに難化。高校入試、大学入試の英語も「読む・書く・聞く・話す」4技能評価に変わる!

文部科学省の英語教育改革方針 さらなる難化、激化は必至!

- 1 小5から英語を正式な教科として導入。
- 2 中学では英語授業を原則英語で行うことを基本に。
- 3 大学入試は総合的な英語力を測る形に転換...など。

馬淵の進化ポイント 1

単語学習を4年生から習慣化!

新しい英語は早期スタートがポイント。小4～小6の3年間で800語指導のカリキュラムで対応します。

馬淵の進化ポイント 2

発音やリスニングも連動させた体系的な授業!

英語はこれまでの「4技能」(聞く、話す、読む、書く)が「5つの領域」に!(1.聞く、2.読む、3.話すーやりとり、4.話すー発表、5.書く)。従来の発音・リスニング指導に加えて、作品の音読・暗唱をレッスンに導入。話す力、表現力を育てます。

Mabuchi Topics

「英語は話せて当たり前」の時代に。馬淵教室は「小学英語」の特長をさらに強化していきます。

今後、社会のグローバル化がよりいっそう進む中、英語への「早期」からの取り組みが重要になってきています。馬淵教室では、時代のニーズに柔軟に学習内容を合わせていくと同時に、小学校の英語教育で不足しがちな文法指導なども授業に取り入れて、4技能をバランスよく伸ばします。これまでの「小学英語」で培ってきたノウハウを活かし、生きた英語力が最短ルートで身につく指導を行っていきます。



まぶちモジュール+教科学習〈算・国〉で学力・思考力を高める。

まぶちモジュール

- 集中力** 英語 — 公立小学校での3年生からの英語学習にさきがけ、身近な英語にふれます。 部首・暗算 — フラッシュ部首では、りっとうしめすへんなど小学生必須の部首を暗唱。フラッシュ暗算では、8級から7段までレベルを変えて実施します。
- 知識** 地理 — 世界のさまざまな国と首都、日本の都道府県と県庁所在地をテンポ良く暗唱します。 四字熟語・ことわざ — 四字熟語・ことわざを意味と合わせて暗唱します。アニメーションを用いて日常生活の中で使う様子をイメージさせます。
- 表現力** 和歌・俳句の暗唱 — 季節にちなんだ和歌・俳句の暗唱をとおして、言葉の力を大きく育てます。 音読 — 豊かな表現の詩や、宮沢賢治などの童話、夏目漱石などたくさんの文学作品に触れ、奥深い「ことば」の感覚を身につけていきます。

算数・国語

- 算数** 低学年専門のインストラクターが解法を確認し、生徒の進捗状況に合わせて指導します。低学年のお子様が無理なく取り組める構成で自学自習の力を養います。 ひとつの単元が6ページで構成されており、例題を進めながら解法を習得、演習を繰り返し定着へと導きます。計算問題・文章題・図形など基本から応用まで年間を通じて繰り返し演習。さまざまな問題に取り組むことで、自ら判断して答えを導く力を育てます。
- 国語** 授業では、物語文・説明文など読解問題を中心に毎回のさまざまな素材文に取り組みます。年間を通じて取り組むことで、読む力・表現する力・書く力を育てます。漢字学習では、新出漢字に加えてバズル問題にもチャレンジして語彙力を養います。
- 宿題** 丸付けやお直しも自分でできるよう、学習への取り組み方から指導します。

考える力のコア(核)をつくる小学生コース

まぶちコア・スタディ 〈小2・小3〉

まぶちモジュール ~基礎学力の反復練習~

教科学習 自ら考え、学ぶ習慣をつける

指導要領にとらわれないことなく、小学校高学年までに身につけておきたい基礎学力を養います。将来の一斉学習を見据え、自分で理解する姿勢を、個別に習得していきます。

中学部の学習

中学1・2・3年生

思考力の構築と得点力の習得



Point 1

中1から5教科指導体制

馬淵教室では、中1から5教科指導の体制で授業を行います。将来の入試につながる真の学力の育成には、どの教科においても系統的な学習計画が必要だからです。毎回の学習内容が定められたカリキュラムに基づく授業と、定期的に復習テストを行い、到達度の確認と今後の家庭学習の指示、特別補講などを行います。



Point 2

中間・期末テスト対策

公立入試にかかせない内申点。これを大きく左右するのが定期テストです。ここでの学習が、夢の実現を引き寄せます。

徹底した中学校別の対応

馬淵教室の定期テスト対策授業は、各中学校ごとに異なる定期テスト日程に合わせて、中学校ごとの時間割で実施されます。テスト開始のおよそ2週間前には、いったん通常授業のカリキュラムはストップし、各中学校の定期テスト範囲に合わせた授業内容になります。この授業で、学校の授業の総復習と演習により定着を図ります。また学校によっては、プリント教材やサブテキストなどから出題される場合もありますが、これにも学校ごとに対応していきます。場合によっては、補講や個別対応も行います。



Point 3

公開テストによる志望校判定

馬淵教室生は年間6回行われる馬淵公開テストで、志望校に対する自分の学力の到達度を確認し、今後の学習計画を立てていきます。大阪・奈良・京都・滋賀・兵庫の公立トップ高、難関私立高への高い実績が証明する公開テストによる志望校判定の精度の高さは、生徒たちを確実に合格へと導きます。

学年別指導目標

中学1年

いよいよ本格的な数科学習に入っていく学年です。しつけ面での指導も含め、学習のしかたをしっかりと身につかせます。それが3年間の基盤となる学力をつけることにつながってきます。また、定期テストでは、1年生のうちにきちんと得点しておく力をつけ、3年生まで継続していきます。

中学2年

気持ちのゆるみちな2年生ですが、学習内容は中学3年間の学習のなかで、もっとも重要な単元が多くなります。この2年生の間に習得した学力が直接3年生につながると言ってもよいでしょう。受験につながる重要な単元を確実に克服していき、徐々に明確になってくる受験校を目標にすえていきます。

中学3年

受験学年は、入試に対応するための思考力と得点するための実戦力を鍛えていきます。基本的にはどの教科も、中学で習得すべき学習単元を2学期の前半で終え、後半は入試問題を実際に扱う授業へと徐々に移行。また、問題の形式に合わせた解き方・考え方なども指導し、取りこぼしのない解答作成を目指します。第一志望校に合格させることが最大の指導目標です。

通常授業 ※地域により異なる場合があります。

英語・数学…週2日

英語・数学・国語…週2日

英語・数学・国語・理科・社会…週3日

指導要領にとらわれることなく、高校受験や大学受験を見すえ、そこから逆算してカリキュラムを組んでいます。公立中学より早い進捗で、まずは基礎知識、原理・原則をきちんと身につけます。そのうえで、学力に応じた応用力を身につけ、高校入試はもちろん、その後の将来につながる思考力・判断力を養います。

定期テスト対策授業 年間5回(各2週間)

学校の定期テスト日程に合わせて、その直前2週間は、定期テスト範囲にそった対策授業となります。準拠教材や過去に実際に出題された問題などを用いて、公立入試に備えた内申点の獲得を中1の段階から指導していきます。



講習会授業 春期/夏期/冬期

講習会の授業は、通常授業と連動したカリキュラムです。馬淵教室生は必修受講となります。春・夏・冬の講習会は、前学期の総復習と、次学期の基本内容の予習が主となります。どの講習会も、学校が休みの時期に集中して行うことが効果的なカリキュラムを用意しています。



イベント

2月		
3月	公開テスト	春期講習会
4月	公立判定模試(中3)	入室式(中1)・出陣式(中3)
5月	公開テスト	
6月	公立判定模試(中3)	公立入試分析会(中3)
7月	公開テスト	夏期講習会
8月	公立判定模試(中3)	夏期講習会
9月	公開テスト	秋期入試特別講座 開始
10月		高校入試説明会(中3)
11月	公開テスト	Turning Point(中2)
12月	公立判定模試(中3)	冬期講習会・私立入試直前講座
1月	公開テスト	冬期講習会・私立入試直前講座
2月	公立判定模試(中3)	私立入試・公立入試直前講座
3月		公立入試・合格祝賀会

※行事は変更になる場合があります。



特別講座授業 ※開講していない校舎もあります。

中3日曜選抜コース(中3対象) ●授業期間:2月~翌年1月の日・祝

公立最難関高完全対応 公立最難関高入試と併願の難関私立に対応した講座です。来たるべき入試に向けたハイレベル指導を行います。

中3秋期特訓 ランクアップコース(中3対象) ●授業期間:9月~翌年1月の土・日・祝

公立上位・有名私立高完全対応 公立上位高および有名私立高入試に対応した講座です。入試頻出単元を中心に定着を図ります。

私立入試直前講座(中3対象) ●授業期間:12月下旬~2月上旬

入試実戦力の養成 私立入試に対応した対策講座です。総合問題演習とその解説を通じて私立高校突破に向けた実戦力を身につけます。

公立入試直前講座(中3対象) ●授業期間:2月中旬~3月上旬

公立入試完全特化 各府県の公立入試を熟知した馬淵教室ならではの対策講座です。記述問題への対策はもちろん、作文・小論文や自由英作文などの個別指導も行います。

中2日曜選抜コース(中2対象) ●授業期間:9月~翌年1月の日・祝

公立最難関高完全対応 公立最難関高合格への第一歩。入試までの全体像を見せます。

SSST/SSSクラス 〈中2・中3対象〉

公立最難関高に圧倒的な合格力!



■ 受講資格

SSST(スリーエストップ)クラス

公立最難関高合格と全国最難関私立高校の併願合格を目指すクラスです。

中2・中3とも：
馬淵公開テストの直前2回の総合偏差値平均が64以上、かつ直前2回の数学偏差値が平均が60以上

SSS(スリーエス)クラス

公立最難関高合格と西大和学園や洛南などの難関私立高校の併願合格を目指すクラスです。

中2：馬淵公開テストの直前2回の総合偏差値平均が58以上、かつ直前2回の数学偏差値が平均が53以上
中3：馬淵公開テストの直前2回の総合偏差値平均が60以上、かつ直前2回の数学偏差値平均が55以上

大阪・奈良・京都・滋賀・兵庫の公立最難関高である、北野・天王寺・奈良・堀川探究・膳所・神戸総理・市西GSを目指す馬淵上位生選抜コースです。SSSクラス専用テキストは、公立最難関高合格だけでなく、難関私立高との併願合格も想定。将来の大学進学も視野に入れ、高校入学以降もさらに伸びる学力育成が目標です。

■ 学年別指導目標

中学2年SSST/SSS

SS・S・Hクラスよりも早い進捗で、且つ、入試レベルの問題まで、各単元を深く掘り下げていきます。必要に応じて高校での学習内容も組み込み、幅広い思考力を養っていきます。

中学3年SSST/SSS

夏期講習会まで、中学校での主な指導単元の学習は終了します。2学期以降は、最難関入試のレベルを中心とした実戦演習が中心となります。この時期の学習が、第一志望校合格のみならず、高校入学後のトップレベルの成績維持へとつながります。



オリジナルテキストで入試における実戦力も高まります。

■ 通常授業 (通塾日数)

英語・数学・国語・理科…週3日

英語・数学・国語・理科・社会…週4日

※中2:4教科必修 / 中3:5教科必修

中学2年生の開始段階で新たに設置される上位選抜クラスで、独自カリキュラムにて授業が展開されます。内申獲得にも考慮し、各時期に1週間の定期テスト対策授業を行います。

■ 講習会授業 春期/夏期/冬期

通常授業と連動したカリキュラムですので必修受講となります。SSSクラスの講習会は、重要単元の学習を進めたり、テーマ別演習などで実戦力を高めたりと、高校入試を念頭に置いた学習内容が中心となります。

■ 時間割サンプル

	中学2年	中学3年
月	理科・国語	数学・英語
火	数学・英語	理科・国語
水		
木	社会	英語・数学
金	英語・数学	社会
土		

■ 指導のポイント

公立最難関高入試に完全対応

公立最難関高だけでなく、東大寺学園や洛南、西大和学園などの難関私立高の併願受験に必要な高い学力を身につけるカリキュラムを組んで指導を進めます。学習指導要領の枠にとらわれず、幅広い知識を身につけることで、将来の公立最難関高合格を目指します。

内申対策も万全

公立高校入試に必要な内申点。特に公立最難関高受験では、高い内申点が必要となります。SSST/SSSクラスでは定期テスト対策を実施。内申対策も万全です。



創駿会 〈中1～中3対象〉

全国最難関私立高校合格を目指す馬淵最高レベルクラス



■ 受講資格

創駿会単独の入室テストを受験し、合格した生徒

灘 高合格を目指す馬淵教室最高レベルクラスです。受験に必要とされる知識やテクニックの追求だけでなく、将来の大学入試を考え、高校生になってからも通用する物事の考え方や勉強に対する姿勢を身につけさせることに力を注いだ指導を行います。英語、数学などの主要教科は、中3・1学期までに中学内容をほぼ終了させ、中学3年生ではテーマ別演習、入試演習に加え、高校内容の先取りを行うなど、履修範囲の枠にとらわれない授業を展開します。

■ 学年別指導目標

中学1年

中学生になって最初の1年間は各教科の原理原則をしっかり理解し、難関校受験に対する学習姿勢を身につけていきます。

中学2年

1年生での学習内容を踏まえ、本格的に入試問題や高校での学習内容を組み込んでいきます。創駿会では、英語・数学などの基幹教科は、中3・1学期で中学校での学習内容はほぼ終了します。

中学3年

1年間をかけて全国最難関私立高校に合格する実戦力を養っていきます。生徒の状況に応じた柔軟な指導が、数学を中心に行われています。

■ 講習会授業 春期/夏期/冬期

通常授業と連動したカリキュラムですので必修受講となります。基本的には、通常授業内容をそのまま引き継いで学習を進めていきます。

■ 通常授業

中1・中2:英語・数学・国語・理科・社会…週3日

中3:英語・数学・国語・理科・社会…週4日

※上記は週あたりの授業回数

馬淵教室高校受験コースの最高レベルクラスです。少人数のクラス設定のもと、灘高合格を目指します。将来の難関大学への現役合格や、各高校の中学部から内部進学する生徒と同等の力を習得していくために、単なる知識の詰め込みや受験テクニックに終始することなく、高校以降の深い思考力や分析力、そして物事に対する姿勢や考え方を身につけていくことに力を注いだ指導を行います。

■ 時間割サンプル

	中学1年	中学2年	中学3年
月		英語・数学	
火	英語・数学		国語・理科
水			数学・英語
木		数学・英語	
金	数学・英語		理科・国語
土	国語・理科・社会	理科・国語・社会	社会・英語・数学

■ 指導のポイント

全国最難関私立高校の入試に完全対応

全国最難関私立高校で出題される問題に対応してカリキュラムを組み、中2の段階から入試問題をたくさん授業に入れ、考え方のポイントを指導します。他のクラスとはちがひ、定期テスト対策の授業はありません。授業内容は、すべて入試を突破し、高校進学以降も通用する実力をつけるためのものです。

余裕の先取り学習

余裕を持って受験学年を迎えられるよう、英語、数学などの主要教科は中3・1学期までにほぼ中学学習単元を終了させ、中3ではテーマ別演習や入試演習を行い、実力をさらに磨いていきます。また、必要に応じて高校内容の先取りを行うなど、履修範囲の枠にはこだわらない授業を展開します。

少人数制

授業は少人数制で行います。志を一つにした生徒たちが互いに競い合い、刺激し合いながら、スピードが速く、かつ密度の濃い授業で受験に向かっていきます。

数学

Mathematics

公式暗記や
パターン演習だけに
頼らない思考力養成

数学は、多種多様な問題を解く力をつけるために、多くの問題を解かなければならない教科だと思われがちです。しかし、多くの問題を通して、すべての問題形式を覚えこむことは不可能です。実際の入試では新作問題も毎年数多く出題されるので、単純に演習量を増やすだけでは対応しきれないのが実情です。馬淵教室の数学は、「基礎・基本の習得」に重点を置きます。基礎・基本を徹底して習得することにより、すべての問題に対処できる本当の「思考力・洞察力」を養います。



国語

Japanese

すべての教科の基盤となる
「思考力」を養う
総合国語指導

国語は成績のあがりにくい、実力のつきにくい教科だと言われます。それは、単に本文内容や問題解説を聞くという、本来の国語力を身につける学習とは言いがたい指導方法が一般的だからです。馬淵教室の国語は、何よりも「本文ありき(本文にこそ解答が書かれている)」の中で、馬淵教室が指導する「手読み」は、目だけではなく手でも文章を読むという手法です。これが「文章の凹凸」を自ら見つけ出す訓練となり、着実な読解力養成へと結びついていきます。



学年別指導方針

中学1年

中学数学の基礎固め
数学的な考え方の習得。

ノートの取り方・復習のしかたを習得することから始まります。授業では、計算方法や問題の考え方のポイントを押しさえ、その内容の演習を繰り返し行うことで基礎を固め、着実に実力を高めていきます。

中学2年

記述指導のスタート。
中3内容を先取り。

1年生での学習を受けて、文字式や方程式、関数、図形についての学習をより深めています。また、これまでに扱わなかった記述問題に取り組んでいきます。図形の証明では入試に向けた記述のしかたを習得します。

中学3年

受験で出題される総合的な見方・考え方の
習得と記述対策。

入試問題は3年生内容から多く出題されます。そのため、3年生で学習する内容は、これまで以上に「基礎・基本の習得」に重点を置いて学んでいきます。そして、基礎・基本をもとに「考える習慣」を身につけ、その上で、入試に必要な「見方・考え方」を習得していきます。

授業の流れ

- 宿題チェック
- 各種テスト
- 授業のポイント部分の解説
- 本日の授業テーマ
- 問題演習解説
- 次回までの宿題提示

チェックテスト

前回の授業内容の重要部分が定着できているかの確認テストを実施します。

復習テスト

2・3回に1回の割合で実施する50点満点のテストです。各単元内容の定着度をはかります。定着が不十分な場合は、フォローアッププリントで補強します。

宿題

基本的に、授業での学習内容に完全準拠した練習問題が宿題になります。一部入試問題を宿題とし、実践力を養います。



定期テスト対策授業

学校の教科書内容が範囲となりますので、対策テキストやプリントを用いた演習形式の授業となります。必要に応じて、実際の定期テストで出題された問題の演習も行います。



学年別指導方針

中学1年

中心文や心情など、基本的な
「手読み」の方法を習得する。

宿題の考え方・やり方を習得するところから始まります。授業では、キーワードをはじめ、中心文・心情の把握など、文章読解のうえで最も重要となる「手読み」を学び、宿題にも活かしていきます。古文は音読も含め、まずはしっかり読めることを目標とします。

中学2年

段落・場面分けや具体・対比構造などに留意し、
さまざまな「手読み」が実践できるようにする。

段落分け、具体・対比、キーワードなど、論理構成を考えるうえでのさまざまな「手読み」の方法を学び、文章にあたります。そのうえで、設問の解き方・書き方を学びます。古文は重要語句や基本的な文法事項を習得し、読解の一助とします。

中学3年

さまざまな文章で、「手読み」の実践を行う。
設問の解き方を習得する。

入試問題レベルの文章にチャレンジしていきます。これまでに習得した「手読み」が自由自在に使えることを目指します。また、設問の考え方も学び、得点力へとつなげていきます。古文は本格的に文法事項を習得し、感覚ではなく論理的な読み方ができるようにしていきます。

授業の流れ

- 宿題チェック
- 各種テスト
- 本日の授業テーマ
- 宿題の解説
- 次回までの宿題提示

チェックテスト(漢字)

該当学年の漢字を出題します。事前に範囲が宿題として提示されます。

チェックテスト(文法)

学習した文法事項の定着をはかるため、定期的なテストを実施します。

復習テスト

授業で扱った読解問題から出題されます。

チェックテスト(古文単語)

高校入試頻出の古文単語を出題します。事前に範囲が宿題として提示されます。

宿題

- 漢字** 次回にチェックテストや復習テストがある場合、その範囲を宿題として提示します。
- 文法** 次回にチェックテストがある場合、その範囲を宿題として提示します。
- 古文単語** 次回にチェックテストがある場合、その範囲を宿題として提示します。
- ※ テキストの「手読み」、意味調べ、問題演習など 次回の授業解説範囲を宿題として提示します。

記述力養成添削講座(特別講座)

年間を通しての緻密な添削指導により、作文・小論文力の強化を目指します。中学3年生は各府県の入試にあわせた講座を実施します。
チェックシート▶ 添削結果▲



定期テスト対策授業

学校の教科書内容が範囲となりますので、準拠教材を用いた演習形式の授業となります。必要に応じて、実際の定期テストで出題された問題の演習も行います。

※「手読み」とは、文章中のキーワードなどを四角で囲んだり、中心文に線を引いたりしながら、手でも読むことを指します。

英語

English

語彙力・音声指導・
記述指導を重視し、
高校以降の学習にもつなげる

英語では、英語教育の改革を踏まえ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語4技能を鍛えます。特に最近の入試問題では、長文読解、リスニング、自由英作文の占める割合が高くなっています。まずは音読により4技能のすべての根幹をなす基礎力を固め、英文読解のポイントや英文特有の論理展開に至るまで、「本物の英語力」を鍛えます。この力が英語4技能すべてに有効に働き、高校入試を突破する応用力につながっていきます。外国語習得に特別な才能は不要です。馬淵教室でそれを体感してください。



理科

Science

原理原則の理解に基づく、
科学的な思考力・
分析力・表現力の養成

理科の学習において重要なことは、「単に用語を覚えること」だけではありません。もちろん、一定量の用語を身につけることは大切です。しかし、それ以上に「なぜそうなのか」の理解を深めていくことこそ重要です。「だからこうなのか」が増えてくると、各単元の理解は一層深まります。授業ではライブナビを用いて「なぜそうなのか」を一つひとつ丁寧に解説していきます。さらに問題演習をとおして、学んだ原理原則に基づいて思考する力、図表・グラフを読み取り分析する力、自分の考えを正しい言葉で表現する力を養成していきます。



学年別指導方針

中学1年

英語学習の習慣化、基礎知識の拡充

小学校から培ってきた「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をさらに伸ばしていくために、「正しい発音に基づく基本英単語の習得」「日々のリスニング学習」に加えて、「文法内容の理解と定着」を行います。授業においては、英単語や基本例文のパターンプラクティスを通じて、語彙力の強化と文法的な理解に努めていきます。また、家庭学習では、音声教材を用いてのリスニング力向上に加え、問題演習による文法的な知識の強化、定着を図ります。

中学2年

高校入試への強固な土台を作る

中学1年で習ったことを土台に新しい文法事項や重要構文を多く学んでいきます。高校入試で問われる文法的な知識は、中学2年で学習する単元から出題されることも多く、授業では、入試に対応できる本質的な理解と定着を意識した指導を行います。また、この時期に長文問題に触れていくことにより、英文を速く正確に読み進めることを意識させていきます。家庭学習では、リスニングの習慣化だけでなく、より一層の語彙力・文法力の強化、定着を図ります。

中学3年

高校入試を突破する英語力の育成

中学校で習得する文法単元を1学期中に学び終え、夏期講習では単元別の復習や長文読解に力を入れていきます。さらに2学期以降は、入試を突破するための総合的な実戦力の強化を図っていきます。入試問題の大半を占める長文読解の指導では、入試頻出の題材に触れながら、英文の構成を意識させ、速読するために必要な具体的な手法を学んでいきます。また、高校入試だけでなく、その先にある大学入試も意識した表現力についても、一人ひとりへの添削指導を強化することにより、将来に役立つ本物の英語力を養っていきます。

授業の流れ

宿題チェック 各種テスト 授業のポイント部分の解説 問題演習解説 次回までの宿題提示

復習テスト

2・3回に1回の割合で実施する50点満点のテストです。各単元内容の定着度ははかります。定着が不十分な場合は、フォローアッププリントで補強します。

チェックテスト

重要英単語や基本例文、入試頻出イディオムを出題します。また、回によっては、不規則動詞の変化を出題します。

宿題

テキストの問題演習 各ユニット(単元)の練習問題が主な宿題範囲になります。クラスのレベルによって、宿題量や範囲が異なります。

重要英単語基本例文 英語学習の基礎となる部分を身につけ、復習テストやチェックテストで成果を確認します。

音声教材 普通の授業でも、ご家庭でも、CDを聞いて音声学習をします。授業内容と家庭学習が連動することで、「聞く」「話す」力が確実にアップします。

英検®2級対策講座(中3)

馬淵教室は英検®の準会場であり、英検®2級が受験できます。

英検®2級を取得している場合、大阪府公立高校入試において80%の得点に換算されます。英検®2級対策講座では5つのカリキュラムで、英検®合格への最短ルートで短期間で習得させます。(大阪府の各校舎で実施します。)

- ①語彙・イディオム
- ②長文読解
- ③リスニング
- ④自由英作文
- ⑤面接対策

*英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。*記載のコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

定期テスト対策授業

学校の教科書内容が範囲となりますので、教科書別のさまざまな準拠教材を用いた対策授業を行います。(主な流れ:単語熟語の暗記→本文内容の確認→本文暗唱→問題演習)

学年別指導方針

中学1年

身の回りの現象をとおして、「なぜ」を考える姿勢を身につける。

植物・動物のなかま、身の回りで起こる現象、理科実験で使用する器具の扱い方などを中心に学習していきます。植物名・動物名・実験器具の名称など、用語や図の暗記も大切になりますが、「なぜ」この順番で操作する必要があるのか、「なぜ」こういう現象が起こるのかを理解することが大切です。中1では、授業・問題演習・解説をとおして、次年度以降につながる学習の土台をつくっていきます。

中学2年

直接目で見ることのできない現象を、「だから」で説明できる力をつける。

学習内容が一段と難しくなる学年です。物理・化学分野においては、入試に出題されやすい「電気」や「原子」の特性について学習します。これらは直接目で観察することができないため、「なぜそうなのか」といった原理原則の理解が非常に重要になってきます。一つひとつの現象について丁寧な解説を行い、「だからこうなる」を自分の言葉で説明できるようにしていきます。

中学3年

総合的な考え方をとおして、入試に対応する力をつける。

近年の入試では、複数学年の学習内容を組み合わせで解く、総合的な内容の出題が数多く見られます。これらの問題に対応するには、苦手な分野を持たないことが大切です。そのため、中3の学習内容を9月までに終了し、夏期講習・2学期を使って中学3年間で学習した重要単元を復習していきます。さらに私立入試直前・公立入試直前にはそれぞれの入試形式にあわせた演習解説を行うことで、これまでに身につけた「既知していること」を組み合わせ、「知らないこと」を考えてい力を養います。

授業の流れ

宿題チェック 各種テスト 新単元の解説 / 馬淵ライブナビ 問題演習解説 次回までの宿題提示

復習テスト

2・3回に1回の割合で実施する50点満点のテストです。各単元内容の定着度ははかります。定着が不十分な場合は、フォローアッププリントで補強します。

チェックテスト

用語や図の定着度・原理原則の理解度を確認するための10点満点のテストで、前回の授業内容から出題します。中学3年生には、副教材の「理科の力」のチェックテストも行います。

宿題

基礎チェック 授業で学習した重要な語句についての一問一答形式の問題や、文章で記述する形式の問題で構成しています。

問題演習 問題は、基本→標準→発展の3段階で構成しており、学習内容に応じた、レベル別の問題演習を行います。

定期テスト対策授業

定期テスト対策授業では学校の進捗にあわせて、教科書準拠の問題集「ワーク」、一つひとつの単元を多面的に演習する問題集「定期テスト対策問題集」を使って演習解説を行い、定期テストの得点につながります。



主要テキスト

社会

Social Studies

単なる「暗記」ではなく、世の中に対する興味と関心を喚起する社会科指導

「社会は「暗記教科」であり、重要なのは理解力・応用力ではなく記憶力である。」という誤解をお持ちではないでしょうか。確かに社会は、覚えるべき情報が多いのは事実です。しかし理解に基づく知識の整理がなければ実力向上につながりません。馬淵教室では、高校入試を見すえ、「地理」「歴史」「公民」の各分野で精緻なカリキュラムを編成し、各分野の学習が関連するように工夫しています。各授業で「ライブナビ」を用いて、生徒の視覚に訴える授業も展開します。



学年別指導方針

中学1年・2年〈地理・歴史〉

世界と日本の各地域の特色から日常生活とのつながりを学ぶ。

地理は、写真や動画、地図などを最大限活用し、視覚に訴える授業を展開していきます。映像や地図を通して、自然や産業と生徒たちの日常生活とのつながりを学び、課題などを考える力も養います。

歴史の「流れ」を理解し、時代の変化を学ぶ。

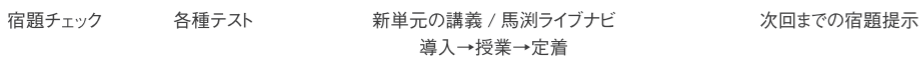
歴史は、人間の生活様式の変化や、産業の発達を通して、それらと密接に関連する文化や政治などのつながりを理解できる授業を展開していきます。人名や事項・年代の暗記にとどまらない、歴史の「流れ」を習得します。

中学3年〈公民・入試対策指導〉

地理・歴史の学習内容をもとに、現代社会の課題を学ぶ。

公民は、政治・経済などの学習を通して、生徒たちが現代社会の課題を見つけ、解決方法を考えられるような授業を展開していきます。「中1・中2で学んだ地理・歴史の背景や時事的な話題を絡めて解説します。身近な問題として捉え、解決するための方法を考察する力を養います。」学年後半には、入試レベルの問題に挑戦して、地理・歴史・公民で学んだ知識を自在に使いこなすことを目指します。

授業の流れ



復習テスト

いくつかの単元が終了した時点でテストを行い、学習内容の定着を図ります。無理のない範囲で、復習の機会を持ち、重要項目を再確認することができるように設定しています。定着が不十分な生徒にはやり直し用のプリント教材などの課題を与え、家庭学習指導を行います。

チェックテスト

中1・中2は、前回の授業の重要語句を一問一答形式のテストを行い、学習内容の定着を細かくチェックします。中3は、前回の授業内容(公民)に加え、地理・歴史の復習範囲を予告し、地理・歴史の重要語句もテストします。このテストで、入試に必要な地理・歴史・公民の重要語句を、無理なく定着を図ります。

宿題

毎回の授業単元

各テキストに掲載された授業内容に即した問題を宿題としています。また、この内容が復習テストやチェックテストに反映されます。

定期テスト対策授業

各中学校の授業内容に対応する準拠教材やオリジナルの対策教材を用いた演習授業を中心に実施します。また、テスト範囲の「ポイント」の明示や対策学習のやりかたの指導など、「対策授業」ならではの内容も盛り込みます。



中3日曜選抜コース〈中3対象〉

●授業期間:2月～翌年1月 ●教科:英・数・国・理・社

大阪 文理選抜コース

京都 堀川・嵯峨野・西京合格特訓

兵庫 神戸・長田・探究・兵庫合格コース

奈良 奈良・畝傍・難関選抜コース

滋賀 膳所高特色選抜合格特訓

兵庫 神戸・市西・宝塚北合格コース

公立最難関高完全対応

「公立最難関高合格」には、これに特化した授業や演習が必須となります。中3日曜選抜コースは、5教科の徹底対策を行う、公立最難関高合格のための最短ルートです。入試の出題傾向を長年分析して培った馬淵教室のノウハウを結集し、公立最難関高合格のために必要な学力を養成する、ハイレベルな講座です。



中3秋期特訓 ランクアップコース〈中3対象〉

●授業期間:9月～翌年1月 ●教科:英・数・国・理・社

公立上位高合格+有名私立高合格への最短ルート

秋から冬にかけての時期は、夏までに培ってきた基礎学力を、実際の公立・国私立の入試問題を解くための応用力を身につける重要な時期です。秋期入試特訓講座では、単元別入試問題演習や、設問テーマ別演習など、入試問題を解くために必要な応用力を身につけるための講座です。生徒たちは、12月になったときには、自分でも驚くほどの実力を身につけていることを実感することでしょう。こうして培った実力は、入試に向けての自信と「合格」という目標を達成するための意欲をいっそう高めま。



【教材】秋期特訓オリジナルテキスト

中2日曜選抜コース〈中2対象〉

●授業期間:9月～翌年1月 ●教科:英・数・国

公立トップ高・難関高入試に向けてスタートダッシュ

中2日曜選抜コースでは、将来の公立トップ高・難関高入試突破に向けて、中2までで学習する内容のうち、公立高校入試に直結する内容を取り上げて学習します。こうして培われた学力は、公立入試で問われる「思考力」や「記述・表現力」の礎となり、中3での日曜選抜コースでの学習へとスムーズにつながっていきます。

馬淵教室の公立最難関高対策はココが違う！

1 馬淵オリジナルテキスト

公立最難関高合格のための専用ハイレベル教材。

深い思考力や応用力が求められる入試に対応。専用オリジナルテキストを使用して、中3後期内容の先取りや入試問題への対策を行います。

2 中3公立合格判定模試

公立最難関高入試に完全対応。

本格的な模擬テストを実施します。合否判定、入試当日の順位予測など精緻なデータ分析で、的確な学習指針を示します。

3 進路指導

志望校合格までバックアップ。

過去の正確なデータをもとに個別の進路相談を実施。合格に向けての効果的な勉強方法の指導、精神面でのバックアップなど、きめ細かくサポートします。

4 学習環境

最高レベル生が拠点校舎に集まり切磋琢磨しあう環境。

志望校合格を目指す多くの生徒と切磋琢磨しあう環境が刺激となり、学習へのモチベーションをさらに高めます。

反転授業

予習→授業→復習のサイクルでさらに伸びる！
絶大な効果の最新学習システム

〈中1～中3対象〉

反転授業とは？

従来の「教室で授業→自宅で復習・定着」から「自宅で予習映像による事前学習→教室で授業・定着」と順序を「反転」させることで学習効果を生み出す最先端システム。全国の小・中・高や大学でも導入の動きが広がっています。

Flip Teaching

馬淵教室生からも大好評！ 圧倒的合格実績を支える新システム。

馬 淵教室では「馬淵ライブナビ」など情報通信技術（ICT）を活用したシステム・メソッドの開発に積極的に取り組んできました。反転授業についても早くから研究に着手。熟にふさわしい授業システムとして開発し、他塾に先駆けて導入、大きな効果をあげています。

ポイント

1

馬淵トップ教師の予習映像を配信。

自宅や自習室でいつでも、何度でも次の授業の予習ができます。授業後の復習にも最適です。



ポイント

2

ライブ授業が濃く、効果的に。 理解力・応用力が付き、 確実に“自分の力”として定着。

基礎・基本を理解してから授業に臨むから、集中力が高まり、ライブ授業がさらに濃く効果的に。学んだことは自宅や自習室での復習で、繰り返し確認、定着できます。



ココで差がつく！
次の講義のポイントを
10分程度に凝縮した予習映像

ただ見るだけでなく、板書された内容をノートに写しながら受講。わかりにくかったところは一時停止や巻き戻しを使って自分の頭で理解していきます。



反転授業が効果的な学習サイクルを実現させます。

1

「予習映像」でプレ学習

基礎・基本の理解

「予習映像」は馬淵教室トップ教師が担当。最高の授業で理解を深めてから授業に臨むので、知識の定着度が大きく向上します。



2

教師のライブ授業

発展課題の習得

馬淵教室の根幹は、教師の情熱あふれる授業。「馬淵ライブナビ」などを駆使して、発展課題を指導します。



4

定着に定着を重ねる

復習

宿題も難問もWebでいつでも解決。「授業でわかりにくかったことも、何度も確認できるからわからないところが残らない」と、生徒からも大好評です。



3

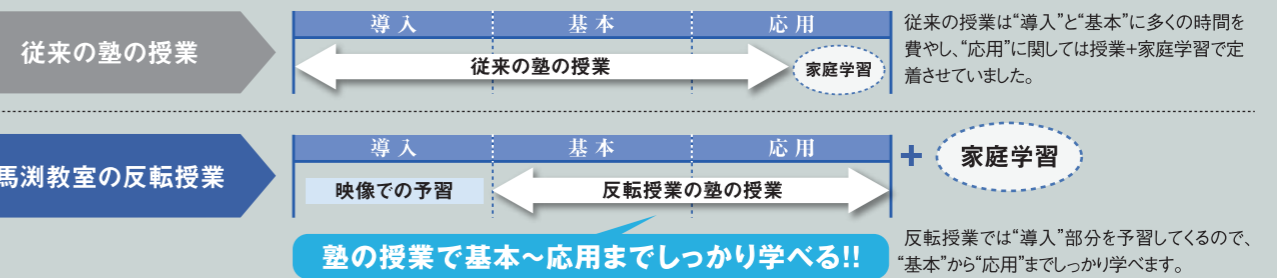
わかるまで徹底演習

応用・発展の定着

授業中はもちろん、授業後も疑問点・わからない問題が生じたときは教師に気軽に質問できる環境です。



従来の塾の授業と反転授業はココが違う！



voice

馬淵教室生にも大好評！「反転授業」はココがすごい！

何度でも何度も繰り返して自習。
“わからないところ”が残りません。



苦手な単元や苦手な科目があっても、それまでの授業だとどうしてもわからないままに進んでいって苦労したこともありましたが、それが「反転授業」が始まってからは、わからないところで一時停止してノートに写したり、巻き戻して何度も見直したりできるのでとても助かっています。そのうえで授業に臨んで、演習問題に入っていくと、徹底して取り組むことができるので、確実に力がついていっているなど実感できます。

応用に十分時間が割けるので、
単元の内容がより深く理解できるように。



これまでの授業だと全員のペースに合わせて進むので、基礎でわからないことがあってもそのまま行ってしまうこともありましたが、反転授業だとわからないところが何度も巻き戻して見られるので、そんなことはありません。基礎は「予習映像」の事前学習で理解できているので、その分授業では応用が発展に時間がかけられます。演習にじっくり取り組みますから、単元の内容がより深く理解できるようになりました。

Web授業

時間も場所も自由、
新しい学習システム馬淵のWeb授業

自宅が、自習室が、馬淵教室になる！ Web授業が毎日の学習をバックアップ。

【部】 活や習い事が忙しいから自分のペースで受講したい」「受講したい講座があるけど、開講校舎が近くにない」といった声にお応えし、馬淵教室では、自宅や馬淵教室各校舎の自習室で受講できるWeb講座を豊富にラインアップ。馬淵教室に通塾する生徒たちの学習をバックアップするツールとしても活用されています。

ポイント 1 インターネット環境があれば、いつでもどこでも、何度でも受講できます。
PCやスマホから、簡単アクセス。いつでもどこからでも受講できます。自宅や馬淵教室の自習室、電車で移動中でも、好きな時に学習を進められます。

ポイント 2 馬淵教室通塾生のフォローアップ授業としても好評です。
Web授業は、馬淵教室通塾生の日々の予習・復習や欠席した授業のフォローアップ授業としても利用可能です。専用サイト「まぶちのマイページ」から、個々のスケジュールに合わせて視聴してください。

馬淵教室生は専用サイト

まぶちのマイページ
で視聴可能



まぶちのWeb自習室 馬淵のトップ講師のWeb授業を受講できる。自宅より集中できる個別ブーススタイル。

馬淵のWeb自習室は授業の合間や授業が終わってから、そして授業のない日でも学校帰りに利用が可能。個別ブースで自分の課題に集中でき、より学習の質を高められる環境を整備しています。個別ブースにはタブレットも設置。馬淵教室の教師のWeb授業をいつでも受講できます。



馬淵教室[高校受験コース]のさまざまなWeb授業

中3 | 日曜特訓Web

ハイレベルな「日曜特訓選抜コース」の授業を自宅、個別ブースで、好きな時間にいつでも受講できる。
最高レベル生が結集する「日曜特訓選抜コース」の授業を、自宅個別ブースで、好きな時間に受講できます。「日曜特訓選抜コース」受講生の予習・復習にも活用可能です。



中3 | まぶち灘高Web

灘高合格者数“全国No.1”の馬淵が徹底指導。
数学は“灘高数学攻略講座”で最高峰の数学テクニックを指導。理科はスピードも重要な“灘の理科”に対応した難問攻略法を伝授。英・数・国・理より教科を選択して受講も可能です。



中1~中3 | 定期テスト対策Web

塾でも自宅でも、効率よく効果抜群のテスト対策
学校の定期テストの範囲に合わせたWEB授業。準拠教材や過去に出題された問題などを駆使した解説で公立入試に必要な内申点対策も万全です。



小4~中3 | いつでも復習Web

日々の復習に活用できるから、馬淵教室生に大好評。
自習室のパソコンで授業で習った単元の復習ができるので、「わからないところが残らない」と大好評。馬淵教室に入室する前の単元を復習することも可能です。



小4~中3 | まぶち欠席フォローWeb

部活動や習い事との両立も可能に。
やむを得ず欠席した授業を、自習室のパソコンで自分のスケジュールに合わせて受講できます。病気や急用のときも安心。教師のフォローと併用してください。



中2・中3 | 英検® Web 講座

馬淵教室で英検®2級を目指す。
英検®2級(中3)、英検®準2級(中2・中3)取得に特化した授業をWebで受講できる馬淵教室生だけの特典です。
※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。
※このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。



中1~中3 | まぶち単元別デジタルライブラリ

5教科すべての単元がいつでもどこでも見放題。
見たい単元だけをピックアップできる細かい単元分けなので、効率的に学べます。馬淵教室の精鋭教師陣による各動画は短くまとめられ、集中して受講できます。

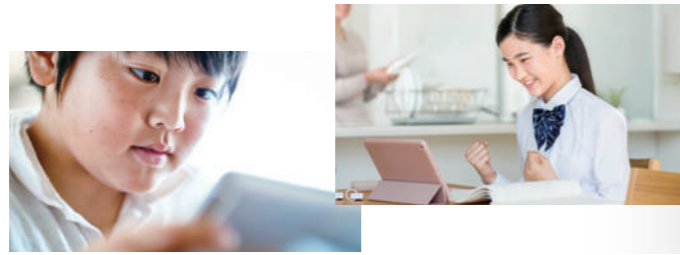


オンライン授業

授業に自宅から参加。
対面授業とお選びいただけます。

馬淵の教師がオンライン授業
いつもの授業をライブ配信。
安心して授業を受けていただけます。

馬淵教室は一人ひとりの条件や事情に応じてベストのスタイルで学習できる環境を提供できるよう、つねに新しいシステムやメソッドの開発に力を注いでいます。「オンライン授業」はその最新の成果のひとつ。
最高レベルの教師陣によるライブ授業に自宅から参加できる新しい学習指導システムです。何らかの事情で教室に通えなくても、馬淵教室の高品質授業を自宅にいらして受けることができます。
馬淵教室のオンライン授業の最大の特長は、教室で実際に授業を受ける、そのステップ、サイクルがそのままシステム化されていることです。
予習、確認テストから授業、そして宿題・復習まで教室での学習ステップやサイクルをそのままシステム化。個別の質問などにもWebで対応します。



馬淵教室の
新メソッド
ご自宅から
参加
できます

Online Lesson



『オンライン授業』の3つの特徴

1 非常時に即対応。
自宅からライブ授業が受けられます。

馬淵のオンライン授業は、馬淵教室の教師による授業をライブ配信。単元導入から問題演習、問題の解説まで、通常の教室での授業と同じ内容で行います。自宅から安心して馬淵の授業を受講できます。



2 説明会・イベントも
オンラインで参加できます。

入試分析会や進学セミナーなど、馬淵教室が開催する各種イベント、説明会もオンラインで同時配信。オンライン授業を受講されている生徒、保護者の方も、馬淵の各種イベントにオンラインで同時参加できます。



3 個別相談・個別懇談も
オンラインでできます。

オンライン受講生の方は、馬淵教室の豊富な学校情報・入試分析などによる進路相談や、模試成績などをもとにした学習相談など、馬淵の教師による生徒・保護者懇談もオンラインで行えます。



ライブ授業終了後も
オンデマンドで繰り返し
受講することができます。



教室で授業を受ける。そのステップ、サイクルをシステム化。個別フォローも万全。

予習動画(反転授業)



中学生の方は次の授業のポイントをまとめた映像授業で予習します。板書された内容をノートに取りながら受講し、理解を深めます。

理解度確認テスト



授業開始時に、前回の授業内容のチェックや単元ごとの復習など、さまざまな形で理解度を確認するための小テストを行います。

オンライン授業



馬淵教室の教師による授業をオンラインで配信します。授業内容はすべて馬淵のテキストとカリキュラムにそって、単元導入から問題演習、問題の解説まで、通常の教室での授業と同じ内容で行います。

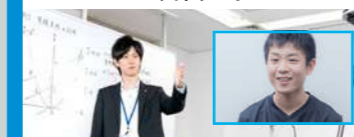
次回の
宿題
提示

宿題/復習動画



カリキュラムにそって、次回の授業に向けての宿題、課題が出ます。また、復習には馬淵のWeb動画も繰り返し視聴できます。

Web質問フォロー



授業終了後の質問は、オンライン個別フォローにて対応します。双方向の画面を通して、馬淵の教師が一人ひとりに説明します。

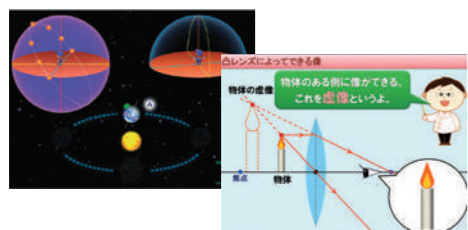
馬渕ライブナビ

馬渕教室オリジナルの
最先端学習システム



「教師」のチカラ×
「映像」の迫力の相乗効果が
驚異的な定着力を生み出す。

単元について、最初のイメージをしっかりとつかむことができれば、その後の学習が非常に楽になります。馬渕ライブナビは従来のテキストと黒板授業で伝えるのが困難だった「最初のイメージ」を、映像と音響を駆使して、「発見」と「実感」をもって生徒に伝えます。一度「わかった」を引き出せば、今度は自分で頭の中にイメージを作る練習や、考える訓練をしなければなりません。試験の時は紙の上で考えるしかないのです。ですから、馬渕ライブナビで全体のイメージを把握した後は、演習で知識や思考法をしっかりと定着させていきます。馬渕教室では、黒板授業と映像授業のそれぞれの特長を融合させ、生徒の「わかった」をより深く、そして確実なものにします。



小学生統一テスト

〈小2～小6対象〉
小2～小5 — 算数・国語
小6 — 算数・国語・理科・社会

今の学力を
5段階
評価

小学生対象のオープン模試。
苦手単元を把握し、学力アップへ!

小学生統一テストは、高校入試を目指す関西圏の小学生を対象としたテストです。学校での学習の習熟度・達成度を、はかり今後の学習の指針とするとともに、高校入試において重要な割合を占める中学進学時の内申点を示すなど、「公開テスト」とは異なる模擬試験です。



- 成績+教科別バランス
- 偏差値の推移
- 教科別得点分布

小学生統一テスト
総合成績表



公立合格判定模試

〈中3対象〉

公立高校入試と同じ形式・
同じ時間で実施する
本格的な判定模試

公立合格判定模試は、公立入試の出題傾向に合わせて作問された「公立高校合格のため」の模擬テストです。実際の公立高校の判定方法に合わせて合格判定を行うほか、入試当日の順位予測も実施。合わせて馬渕公開テストを受験すれば、併願私立も含めてより精緻な判定ができます。



公立入試
専門模試
出題傾向や出題形式に
完全対応



公立合格判定模試 総合成績表

ストレートに心に響くデジタル映像を道具にして
巧みなストーリー展開で集中力を高め、理解を深めます。

時代に先がけていち早く開発・導入

馬渕教室が授業に「映像」を導入したのは10数年前。生徒たちの「わかった」をより深く、確実なものにするのに、「映像」がとても有効だと考えてのことでした。以来、めざましい実績をあげるとともに、技術面・ソフト面での改良を加えさらに進化したのが「馬渕ライブナビ」です。



デジタル映像と板書を融合

馬渕ライブナビは、授業の内容に合わせて映し出される画像や映像が、「発見」と「実感」をもって核心を伝え、併せて板書形式の授業で知識や思考法を定着。デジタル教材と教師のライブ授業を融合させた、映像世代に最適の最先端教育です。



ストレートに心に響く授業

アニメーション、CG、撮影画像、そして効果音などを駆使し、視覚と聴覚に訴えかける馬渕ライブナビ。生徒たちの知的好奇心やみずみずしい感性が刺激され、ストレートに心と頭に響いて教師とのコミュニケーションもさらに活発になり授業が活性化します。



演習で定着に定着を重ねる

単元の最初に全体のイメージをしっかりとつかむことができれば、その後の学習が非常に効率的になります。馬渕ライブナビによって全体への理解をより早く、より明確にし時間も短縮。それによって生まれた時間を演習に充て、定着に定着を重ねて大きな成果をあげています。



馬渕公開テスト

精緻な学力分析、
合格への確かな指針

〈小4～中3対象〉

小4～小6 — 算数(40分)・国語(40分)

中1 — 英語(40分)・数学(40分)・国語(40分)・理科(35分)・社会(35分) ※英語・理科は第2回から実施

中2・3 — 英語(40分)・数学(40分)・国語(40分)・理科(35分)・社会(35分) ※社会は第4回から実施

Test

ポイント
1

現在の合格力を知り、 実戦力をさらに鍛える。

馬渕公開テストは、小学4年生～中学3年生の馬渕教室生および一般生を対象としたテストです。豊富なデータと個人成績を照らし、緻密な分析をもとにした成績資料(総合成績、教科別・単元別成績、志望校合格判定、公立高校順位予測)は、現在の学力を正確に知り、「本番に強い」実戦力を鍛えるための確かな指針となります。

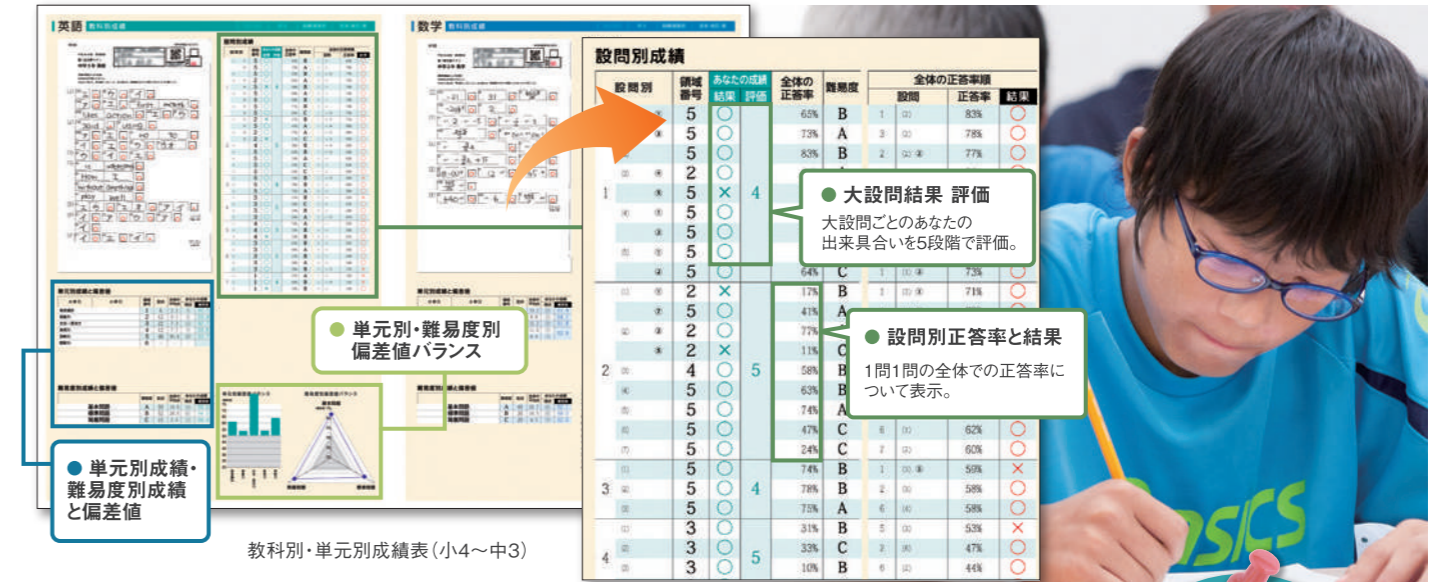
ポイント
2

年間6回の実施で、 実力の定着度が確認できる。

全学年とも、約2ヶ月に1回実施されます。1回ずつのテストに重みや手応えを持たせるには、単に実施回数を増やしても意味がありません。努力の結果がきちんと数字に表れるよう、ある程度の期間を置くようにしています。(馬渕教室生のクラス分けの判定資料になります)



馬渕公開テスト 総合成績表 (小4～中3)



教科別・単元別成績表 (小4～中3)

ポイント
3

教科別成績表で、弱点単元や 設問がひと目でわかる。

単元別成績表には、出題された設問が単元別、難易度別に分類されており、各単元や難易度ごとに全体平均点と比較することができます。また、一つひとつの設問についても同様に全体正答率との比較や難易度が確認できるようになっています。テスト後の大きな学習指針となります。

関西
最大級
の本格模試!

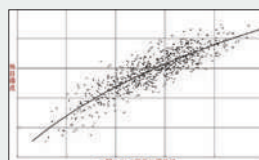
※公開テストの詳細については、「馬渕公開テスト パンフレット」をご覧ください。

さらに! 中2・中3生には公立・私立入試を想定した志望校の合格判定を実施。

公立入試対策にも最適。 正確な合格判定と当日順位予測。

中2・中3生には公立および国私立高校の合格判定がなされます。特に公立高校については、内申点(予測)と公開テストの結果を当日得点に換算して、入試当日の順位予測を行います。公立トップ高への圧倒的な合格力を誇る馬渕教室だからこそできる、膨大な過去データに基づいた正確な合格判定です。

中3には正確な公立入試得点を予測!



馬渕公開テストの結果と公立入試得点の間にはたいへん強い相関関係があります。これにより、公立入試当日の得点や順位も正確に予想することができます。

◀公立入試の当日得点と公開テストの相関図

● 合格判定
志望する公立高校・国私立高校における合格の可能性を表示。

● 公立高校 当日順位予測
(予測)内申点と公開テストの成績を当日得点に換算し、当日の順位を予測。

● 入試当日の得点・順位を予測までできる!



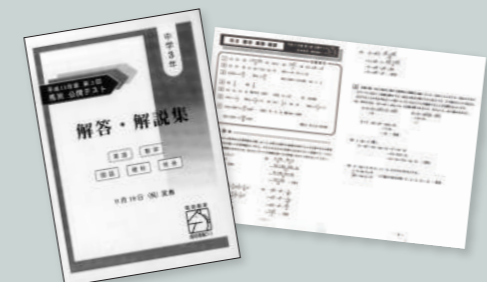
志望校合格判定 (中2・中3)

テスト後のフォローアップも万全、しっかり復習できます。

ていねいな「解答・解説集」つき

「問題用紙」と「解答・解説集」はテスト当日にお持ち帰りいただけます。ご家庭で「解答・解説集」をよく読んで、しっかり復習して下さい。

次回以降のテストに
しっかり繋げる!



voice

関西最大級 「馬渕公開テスト」受講者の声

馬渕公開テストはやり直しの習慣が身につきます。

初めはハイレベル、ハイスピードに感じた授業も面白い先生方が多く、すぐに慣れることができました。馬渕公開テストはやり直し習慣のきっかけになり、順位が発表させることがモチベーションになりました。また、試験の雰囲気にも慣れたことも良かったです。



馬渕公開テストは実力を知るいい機会になりました。

馬渕公開テストでは、合格判定などで自分の実力を測ることができ、受験勉強を進めるうえでとても励みになりました。また、反転授業はWeb授業で予習してから教室での授業に臨むので、授業の内容が頭に入りやすく、しっかり学ぶことができたと思います。



サポート体制



保護者懇談会・進路懇談会

効果的な学習や成績向上のためには、生徒、保護者、そして教師の三者が三位一体となることが大前提です。さまざまな情報共有・相談のなかから、今後の学習の指針が見出されます。中学3年生の懇談は、いよいよ志望校を決める懇談となります。基本的には3者懇談となりますので、学力の状況を報告させていただくとともに、お子様ならびに保護者の方と相談しながら進路を決定していきます。

保護者懇談の内容

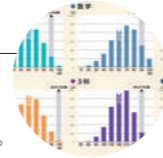
塾での生徒の様子

授業時間や休憩時間などの生徒の様子を、懇談担当者から説明します。併せて、各教科の方針などもご説明させていただきます。



テストの成績

普段の復習テストや、公開テストなどの成績分析の結果をご報告します。弱点教科や単元および学習のアドバイスなどをお話します。なお、必要に応じて進路の相談もさせていただきます。



保護者懇談会・ 進路懇談会スケジュール ※小4～中2は希望制	小4	2学期	中1	2学期
	小5	2学期	中2	1学期
	小6	1学期	中3	1学期・2学期

ご家庭での学習状況

宿題などの状況をお聞きます。かかっている時間や、宿題をする時間帯、集中の度合いなど、今後の生徒指導の指針とします。



生活状況の共有

学校やクラブ、習い事などの両立は、生徒の学習にとって、たいへん重要なポイントになります。それぞれの生徒の状況を教師が把握しておくことが、よりよい生徒指導につながります。



※なお、生徒たちはたいへん多感な時期です。お子様との懇談や、保護者の方との懇談も随時実施しております。懇談のご希望があれば、ご相談の上、日時を設定させていただきます。

質問・補講日

全学年のカリキュラムをストップし、補講（無料）や質問受けのための日を設けています。日々の学習を振り返ることができ、弱点単元の補強などにたいへん有効です。



まぶちメール

まぶちメールでは、主に馬淵教室の開校状況等の連絡を行います。緊急時や災害など、開校・通塾が困難な場合、インフォメーションとしてまぶちのマイページ登録者様に向けて発信いたします。



お便りサイト

馬淵教室での各種イベントやテスト・模試などの概要などを掲示しております。まぶちのマイページから閲覧できるので、いつでも各種概要などを見ることができます。



安全対策・学習環境



スクールバス



オートロックシステム



入室管理システム

安心して勉強できるよう最善のサポートを行っています。

安全に通塾していただくために各校まで、無料スクールバスを運行。（一部校舎を除く）また全校舎玄関にオートロック機能を設置、「まぶちカード」でお子様の登下校をメールでお知らせするなど、様々な取り組みをしています。



Web自習室



個別ブースに分かれた自習室で、集中して学習に取り組むことができます。公開テストや中学生の定期テストの前、講習会の授業前後などには、多くの馬淵教室生が利用します。

入室までの流れ

1 入室テスト申し込み

まずはお電話か、直接各校舎の窓口にてお申し込みください。



2 入室テスト受験

小学生は算数・国語、中学生は英語・数学（入室テストの時期によって若干異なります）のそれぞれ2教科を受験していただきます。その後で「面接（お子様のみ）」がございます。



3 入室テスト可否通知

通常、翌週にお電話にてご連絡さしあげます。ご質問などがあれば、遠慮なくおっしゃってください。

4 合格面談

入室テスト合格となった場合、後日に懇談を実施させていただきます。ここでは、校舎のスタッフがご挨拶申し上げるとともに、馬淵教室の授業や費用などについてご説明します。入室テストの結果についても報告させていただきます。また、今後の勉強方法や、進路についての相談も承ります。なお、残念ながら不合格となった場合でも、ご希望があれば、入室テストの結果や今後の学習方法などについてご説明させていただきます。



5 入室手続き

必要書類を各校舎窓口にてご提出ください。



6 入室・授業参加

授業
START!



馬淵教室

[高校受験コース]

Q & A

よくあるご質問

皆様から寄せられる代表的な疑問や質問をご紹介します。
その他、お知りになりたいことがあれば、各校舎までお気軽にお問い合わせください。

キミも始めよう!



Q 馬淵教室の授業についていけるか心配です。

A **Web授業・質問対応・補講体制**が整っています。

馬淵教室に入室する約70%の生徒の入室時の偏差値は50未満。そこから確実にステップアップし、当初は手が届きそうもなかった上位高・難関高に合格するまでに成績を伸ばしています。馬淵が誇る合格実績、それは生徒一人ひとりの努力、そして手厚いサポートの結晶です。



Q 小学2年生から高校受験の勉強って早くないですか？

A 早くから**学習習慣**をつけることはより深く理解するためにもお勧めします。

小学校低学年は一生のうちで脳の吸収力が最も高いと言われています。この大切な時期に学力や思考力の基盤を身につけることによって、受験のみならず将来のあらゆる場面で必要となる「考える力」を養います。まぶちコア・スタディは学ぶ楽しさ、できる喜びを体感させ、子どもたちの将来の可能性を見つけ出し、大きく育てることを目標としています。



Q 部活や習い事と両立できますか？

A **95%以上の馬淵教室生はクラブ活動を積極的に行っています。**

わかる授業を日々行っています。そして、短時間で定着できるための予習・復習システムが馬淵にはあります。また、中学生の授業は午後7:15開始なので、クラブを終えてから通塾できます。週3日で5科目受講できますから、中学生がクラブ活動にも力を入れることができます。



Q 宿題は多いですか？

A **部活動や習い事と両立できる量**になっています。

授業内容の定着のために宿題は必ず出題されますが、クラブ活動等と両立できる量です。また、馬淵教室では映像授業や映像教材を他塾に先駆け導入・発展させ、授業内で演習に取り組み時間を十分に確保することで、宿題にかかる負担を大きく軽減しています。



Q 定期テストへの取り組みは？

A **各中学校の定期テストに合わせた対策授業**をしています。

定期テスト実施日の約2週間前から学校別・日程別のクラス編成で、それぞれの生徒に合わせてきめ細やかな授業を行っています。また、定期テスト対策専用のテキストを使い、中学校の進捗に合わせて実施していきます。



Q 今は別の塾に通っているのですが…

A それまでの**学習進捗具合**によって、**しっかりフォロー**します。

無料体験授業・授業見学・進路懇談など、転塾をスムーズに行っていただけるよう転塾応援制度を設けています。どうぞご安心ください。

